

被災された研究者・学生等の受入・研究支援等に関する情報(2011.5.20版)

大学・研究機関名称	研究科・講座等	支援内容の概要について	ウェブサイト	支援に関する連絡先	その他
北見工業大学		情報処理センターの利用 図書館の利用	http://www.kitami-it.ac.jp/public_relations/shinsai_index.html		
北海道大学	触媒化学研究センター	計画停電等も含めて震災の影響で研究に支障がある研究者に対して、センター教員を研究分担者とする共同研究を公募（1件15～30万円/10～20件程度）。当面の申込締切は4月8日（金）で、申請状況によりその後も受付。詳細は、ウェブサイトをご覧ください。	http://www.cat.hokudai.ac.jp/h23_shien.html	k-kenkyo@jimu.hokudai.ac.jp	センター教員が研究分担者になる共同研究であれば、触媒に直接関係しない研究内容でも構いません。センター所有設備は無料で使用できます。学内の他設備についても無料になる見通しです。研究経費としては、研究者や大学院生の滞在費を想定しています。北海道大学触媒化学研究センターは触媒化学に関する共同利用・共同研究拠点であり、通常の共同研究申請も受け付けています。
	遺伝子病制御研究所	「緊急の共同研究」の募集・・・研究室が被災し、研究の遂行に支障をきたした研究者（研究分担者としての大学院生を含む）に、北海道大学遺伝子病制御研究所にて研究の場を提供。北海道大学遺伝子病制御研究所までの往復旅費及び宿泊費を本学旅費規則に基づいて支給。	http://www.igm.hokudai.ac.jp/201104kyoudou.html		
	低温科学研究所	「緊急の共同研究」の募集・・・研究室が被災し、研究の遂行に支障をきたした研究者（研究分担者としての大学院生を含む）に、北海道大学低温科学研究所にて研究の場を提供。北海道大学低温科学研究所までの往復旅費を本学旅費規則に基づいて支給。 雪氷試料や生物試料など低温室で無料預かり	http://www.lowtem.hokudai.ac.jp/		
	附属図書館	北海道に帰省された東北大学はじめ被災地の大学の学生・教職員の方は、本学附属図書館（本館・北図書館・各部局図書室）をご利用いただけます。	http://www.lib.hokudai.ac.jp/modules/tinyd11/index.php?id=24		
	情報基盤センター	情報環境の利用	http://www.hokudai.ac.jp/eq/iic.html		
埼玉大学		1. 被災学生（大学院生を含む）の講義の履修について被災大学に在籍している学生で、避難先、帰省先等が埼玉大学の近辺である学生が、本学の授業を履修することなどに対して、支援を行います。 2. 被災大学院生の研究支援について被災大学に在籍している大学院生で、避難先、帰省先等が埼玉大学の近辺である大学院生に対し、本学が研究指導を行うことなどに対して、支援を行います。	http://www.saitama-u.ac.jp/announce/20110404-4.html		
千葉大学	附属図書館	被災地の大学等にご所属の方は、一般の利用者として千葉大学附属図書館を利用できます。	http://www.lib.chiba-u.jp/news/news20110324.html		
筑波大学	菅平高原実験センター	・被災された学生または研究者が対象。合計18名程度。 ・最大で8名が同室で宿泊。 ・受け入れ期間は4月5日以降、原則として2011年6月26日まで。 ・宿泊費・施設利用費 無料。 ・研究スペース提供。各種研究設備もご利用になれます。 ・連絡先等の必要情報をメールまたはファックスすることで申し込み。	http://www.sugadaira.tsukuba.ac.jp/event/e_110404.html	電話 0268-74-2002 ファックス 0268-74-2016 電子メール ukeire@sugadaira.tsukuba.ac.jp	

東京工業大学		<p>【附属図書館で提供可能なサービスについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・閲覧机等諸設備の利用 ・図書・雑誌の閲覧 ・専用PCによる電子ジャーナルの閲覧 ・電子ジャーナルのページのプリントアウト (私費扱いのみ。カウンター受付のみ。) ・図書貸出 (2冊まで。2週間。カウンター受付のみ。) ※予約なし・延滞なし・返却期限前・利用有効期限前であれば カウンターで返却期限更新も可能。 <p>【無線LANの使用について】</p>	http://www.sci.titech.ac.jp/top/top/ukeire.html	rig.jim@jim.titech.ac.jp	
横浜国立大学		<ol style="list-style-type: none"> 1. 附属図書館の利用・インターネット使用への便宜 2. 講義を履修したり、勉学を行う事などに対応して、その支援 3. 被災地域の大学において甚大な被害を受け、研究環境の再構築が長期にわたって困難な研究者に対して、研究スペースの提供や研究機器の共用等の可能な支援、宿泊施設等の準備 	http://www.ynu.ac.jp/hus/koho/2665/detail.html		
総合研究大学院大学・葉山キャンパス	生命共生体進化学専攻・学融合推進センター	<p>総合研究大学院大学葉山キャンパス(神奈川県三浦郡葉山町湘南国際村)では、この度の東日本大震災で被災した大学等研究機関の研究者・大学院生・学生の方々の研究支援を目的として、葉山キャンパス内の研究施設および宿泊施設の提供を行います。</p> <p>(目的と対象)被災した大学等研究機関の研究者・大学院生・学生に総合研究大学院大学・葉山キャンパス(以下、「葉山キャンパス」と呼ぶ)の研究施設・宿泊施設を提供することによる研究継続支援。</p> <p>(研究施設)葉山キャンパス内の研究棟および附属図書館の研究設備・スペースを訪問研究員に準じて利用できます。</p> <p>(宿泊施設)葉山キャンパス内宿泊棟の宿泊室。宿泊料は無料、光熱水料も本学負担とします。なお、10日を超える滞在にも可能な限り対応します。</p> <p>詳細は http://center.soken.ac.jp/act/press20110408.htmlをご覧ください。</p>	http://center.soken.ac.jp/act/press20110408.html		
名古屋大学	環境学研究科	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館利用 ・大学院生および研究員の、研究室受け入れ 	http://www.env.nagoya-u.ac.jp/news/pub/20110324.pdf	名古屋大学大学院環境学研究科 庶務掛 kan-syo(at)post.jimu.nagoya-u.ac.jp	名古屋大学環境学研究科は、文理融合型の学際的な研究科です。詳細はウェブサイト< http://www.env.nagoya-u.ac.jp/ >をご覧ください。 ご相談は、環境学研究科庶務掛か、本研究科の教員に直接ご連絡ください。
名古屋工業大学		被災された大学の学生等の受け入れ	http://www.nitech.ac.jp/other/anti_disaster_12.html		
		被災された大学及び研究機関等の研究者の受け入れ等	http://www.nitech.ac.jp/other/anti_disaster_13.html		
		被災された大学及び公的研究機関からの受託分析の低料金での優先実施	http://www.nitech.ac.jp/other/anti_disaster_14.html		
		被災された大学の機械加工のサービス提供	http://www.nitech.ac.jp/other/anti_disaster_15.html		
岐阜大学	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・館内資料の閲覧 ・館内施設の利用 ・館内資料の文献複写 ・インターネット接続可能なPCの利用(本館のみ) ・一般図書の貸出(利用者カードを発行いたします)(本館のみ) 	http://www1.gifu-u.ac.jp/~qulib/index.html		

金沢大学	がん進展制御研究所	「共同研究（被災研究者支援）」の募集	http://www.kanazawa-u.ac.jp/~ganken/co/boshu2.html		
	総合メディア基盤センター	金沢大学ネットワークサービスの提供	http://www.imc.kanazawa-u.ac.jp/announce/announce_201103241812.pdf		
	附属図書館	金沢大学附属図書館（中央図書館・自然科学系図書館、医学系分館、保健学類図書室）の利用	http://www.lib.kanazawa-u.ac.jp/news/2011/0322.html		
信州大学	附属図書館	東北・関東地方を中心に地震被害にあわれた大学の学生・教職員の方を対象に、当面の間、本学の構成員と同等のサービスを利用できるようにいたします。	http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/library/information/2011/03/earthquake-sufferers.html		
富山大学	総合情報基盤センター	情報システム（端末室、インターネット等）の利用	http://www.itc.u-toyama.ac.jp/news/110329/index.html		
	附属図書館	図書館のサービスの利用	http://www.lib.u-toyama.ac.jp/libnews/110318_news.html		
豊橋技術科学大学	附属図書館	図書館の利用	http://www.tut.ac.jp/info/tosho-riyo-0322.html		
長岡技術科学大学	附属図書館	図書館の利用	http://lib.nagaokaut.ac.jp/		
愛知教育大学	付属図書館	愛知教育大学附属図書館では、被災した大学の教職員・学生の皆様は以下のサービスをご利用いただけます。 ご利用に際しては、学生証など身分証をご提示ください。 ・館内資料の閲覧 ・館内資料の貸出 ・コピー機の利用（有料） 詳しくは利用案内（学外者用）をご覧ください。 http://www.aelib.aichi-edu.ac.jp/lib/gakugai.html	http://www.aelib.aichi-edu.ac.jp/		
名古屋工業大学		図書館サービスの提供	http://www.nitech.ac.jp/other/anti_djaster_08.html		
名古屋大学	附属図書館	図書館の利用	http://info.nul.nagoya-u.ac.jp/news/centrallib/2010/110316/view?set_language=ja		
		各研究室等の単位での学生等の受入れ、他	http://www.nagoya-u.ac.jp/global-info/info/20110419.html	名古屋大学 総務部総務課 [TEL] 052-789-2008	本学では、東日本大震災に被災した地域の大学に在籍中の学生等の皆様への支援の一つとして、各研究室等の単位での学生等の受入れについて、受入れ可能人数や受入れた際の使用可能な設備等の情報を公開しております。詳細については、ホームページをご覧ください。
	工学部	学生の受け入れ	http://www.nitech.ac.jp/news/2011/786.html	[連絡先] 名古屋工業大学 学務チーム 修学指導担当 [TEL] 052-735-7441	工学部第1部の7学科(生命・物質工学科、環境材料工学科、機械工学科、電気電子工学科、情報工学科、建築・デザイン工学科、都市社会工学科)では、1年次から3年次までは、1学科当たり3名までの受け入れが可能です。 工学部第1部の4年次及び博士前期課程・博士後期課程については、研究内容の適合度合いを確認して、受入れの可否を判断させていただきます。 留学生については、国費留学生を優先に、大学全体で10名程度の受け入れが可能です。 ※学部生にあつては「特別聴講学生」として、大学院生の研究指導にあつては「特別研究学生」として受入れ、検定料、入学金及び授業料は徴収しません。単位の認定については、授業等を適正に受講し、試験に合格した者に対し、本学の授業科目の単位として付与します。
福井大学	附属図書館	総合図書館及び医学図書館で本学学生と同等のサービスが利用可能	http://www.u-fukui.ac.jp/tohoku/index.html		
北陸先端科学技術大学院大学		講義の履修、聴講及び研究支援	http://www.jaist.ac.jp/news/update/2011/post-9.html	教育支援課教務係 Tel:0761-51-1936, 1939 Fax:0761-51-1959 E-mail: kyoumu@jaist.ac.jp	

京都大学	図書館機構	入館カードの発行（京都大学の学部生に準じる蔵書の貸出・閲覧・複写サービス）。 電子ジャーナル閲覧用IDの発行（リモートアクセス可）。	http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/bulletin/article.php?storyid=795	情報サービス課資料運用掛 Tel: 075-753-2632, 2641 E-mail: unyou*kulib.kyoto-u.ac.jp	閉架図書も閲覧・貸出できるが、入庫は不明
	理学研究科	被害に遭われた研究者・大学院生の方々を支援する目的で、理学研究科の研究環境の提供。	http://www.sci.kyoto-u.ac.jp/modules/bulletin/index.php?page=article&storyid=703	京都大学理学研究科 総務掛 電話番号：075-753-3600 FAX番号：075-753-3645 E-mail：somu(at)office.sci.kyoto-u.ac.jp	
	基礎物理学研究所	京都大学基礎物理学研究所では、研究が困難になった研究機関の研究者（大学院生を含む）の方々の受け入れが可能です。デスクスペース、インターネット環境、図書館等が利用可能です。 滞在希望の方は、当研究所で最も関連があると思われる所員までご連絡下さい。 京大周辺の宿泊施設に関しては、4月は観光シーズンで、さらに、地震の影響で関西方面の宿泊施設が非常に込み合っていることにご注意下さい。 基礎物理学研究所には、従来より、研究所滞在プログラムとして、アトム型研究員、GCOEビジター、ビジター制度、があります。今回の災害に関係した滞在希望に対しても、これらの制度を流用することとします。旅費・滞在費のサポート希望に応じてプログラムをお選びの上、以下のウェブページの案内にしたがって応募書類を提出下さい。 (旅費・滞在費不要の場合は、ビジター制度にご応募下さい) http://www.yukawa.kyoto-u.ac.jp/contents/kyoudou/visit.html アトム型については来所予定の2ヶ月前が、GCOEビジター、ビジター制度は、1ヶ月前が、それぞれ応募締め切りとなっておりますが、今回の災害に関連した申請については、応募締め切りは特に設けず、また採否決定もできるだけ早く行うように致します。 その場合は、それぞれの申請書類の「研究テーマの内容」欄に被災状況、旅費の要不要等々など研究上の困難についても記述するようお願い致します。		プロジェクトマネージャー 藤田 裕子 E-mail: fujita_{AT}_yukawa.kyoto-u.ac.jp	
	このたびの東日本大震災で被害を受けた大学等に対する支援の一環として、被災した大学に所属する方々を対象に本学の宿泊施設を提供します。 * 対象者： 大学、高等専門学校および国公立研究機関ならびにこれらに準ずる機関に所属される方々（学部生、大学院生、研究員、教職員等） * 宿泊料： 当面無償（光熱水料等も本学が負担させていただきます。）	http://www.osaka-u.ac.jp/ia/news/topics/2011/03/20110324_02	担当窓口： 大阪大学本部事務機構 施設部企画課 メール：hinoki-s@office.osaka-u.ac.jp (まずはメールにてご相談下さい)		
	生命機能研究科	東北関東大震災によって被災された大学等に所属する方々（大学院生、研究員、教員等）を本研究科の適切な研究室で受け入れ、教育研究活動の支援にあたる体制を用意	http://www.fbs.osaka-u.ac.jp/		
	理学研究科・理学部	大阪大学附属図書館、理学部情報資料室の利用 大学院生、研究員、教員の適切な研究室での受け入れ	http://www.sci.osaka-u.ac.jp/content0416.html		

大阪大学	微生物病研究所(微生物病共同研究拠点) 産業科学研究所(物質・デバイス領域共同研究拠点) 蛋白質研究所(蛋白質共同利用・共同研究拠点) 社会経済研究所(行動経済学研究拠点) 接合科学研究所(接合科学共同利用・共同研究拠点) 核物理研究センター(サブアトム科学共同研究拠点) サイバーメディアセンター(学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点) レーザーエネルギー学研究センター(レーザーエネルギー学先端研究拠点)	共同利用・共同研究等の実施のために研究者の受入や研究スペースの提供など	http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/info/earthquake/ga_kujutsukikoukaigi		
神戸大学	経営学研究科	今回の震災に被災された方々に対する支援の一環として、当研究科は、被災された東北3県(岩手県、宮城県、福島県)に所在する大学において研究に従事されている方々に対し、経営学研究科研究員として、無給ではありますが、研究環境を御使用いただけるようにすることにいたしました。 資格: 今回の研究員となる事が出来る者は次の各号すべてに該当する者とします。 1. 岩手県、宮城県、福島県のいずれかに所在する大学において研究に従事する者 2. 大学院博士課程(後期課程)を修了した者 3. 経営学研究科の専任教員から受け入れ教員となる承諾を得ている者 申請に際しましては http://www.b.kobe-u.ac.jp/info/news/2011/03/researcher.pdf をご覧の上、お申し込みください。	http://www.b.kobe-u.ac.jp/info/news/2011/03/post_126.html		
愛媛大学		(1) 被災学生・大学院生の講義の履修 (2) 被災大学院生の研究支援(被災大学院生の特別研究学生としての受け入れ) (3) 研究者の支援(研究スペースの提供や愛媛大学が有する研究用機器の利用等可能な支援) (4) 宿舍の確保(学生宿舍を無償貸与)	http://www.ehime-u.ac.jp/news_important/detail.html?new_rec=7995		
高知大学		研究スペースの利用 図書館の利用、インターネット使用 研究スペース利用に伴う宿泊施設の利用	http://www.kochi-u.ac.jp/JA/news/110325hisai.htm		
島根大学		図書館の利用	http://www.shimane-u.ac.jp/docs/2011033100139/		
徳島大学		(1) 被災学生・大学院生の講義の履修、聴講 (2) 被災大学院生の研究支援(特別研究学生としての受け入れ) (3) その他	http://www.tokushima-u.ac.jp/docs/2011040100016/		
鳥取大学		図書館の利用	http://www.lib.tottori-u.ac.jp/news/2011/20110318.htm		
		図書館の利用 情報端末・情報コンセントの一部利用	http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/news_events/2010nend/tohokuiishin/		

広島大学		<p>1. 被災学生・大学院生の講義の履修、聴講等について</p> <p>(1)受入れ学部、研究科:すべての学部、研究科</p> <p>(2)受入れ対象者:</p> <p>被災等により授業が開講できない大学に在学している学生 避難しているため、在籍する大学で授業が受講できない学生 被災、避難等により在籍する大学院で研究ができない学生</p> <p>(3)単位:本学学生と同等の基準により認定します。 ※本学で修得した単位は、在籍大学の審議を経て単位認定されることとなります。具体的には下記の本学相談窓口にお問い合わせください。</p> <p>(4)検定料、入学金、授業料:徴収しません。</p> <p>(5)必要な手続き:申し込み時期や必要な手続き等については、お問い合わせください。</p> <p>【問い合わせ先】 広島大学教育室教育企画グループ(教務・学籍主担当) Tel 082-424-6156、Fax 082-424-6170 e-mail gsyugakukm-group * office.hiroshima-u.ac.jp (* は、半角@に置き換えてください)</p>	<p>http://www.hiroshima-u.ac.jp/news/show/id/10885/dir_id/0</p>	<p>e-mail gakusei-sen * office.hiroshima-u.ac.jp (* は、半角@に置き換えてください)</p>	<p>2. その他(住居等に関することなど)</p> <p>(1)受入れ対象者:上記で受け入れるすべての学生</p> <p>(2)宿泊に係る経費:徴収しません。</p> <p>(3)必要な手続き:申し込み時期や必要な手続き等については、お問い合わせください。 【問い合わせ先】 広島大学教育室学生生活支援グループ(専門員) Tel 082-424-6145、Fax 082-424-6159 e-mail gakusei-sen * office.hiroshima-u.ac.jp (* は、半角@に置き換えてください)</p> <p>※支援内容が充実しました。</p>
山口大学		<p>1 被災学生・大学院生の講義の履修、聴講</p> <p>2 被災大学院生の研究支援</p> <p>3 研究者の支援(研究スペースの提供等)</p> <p>4 図書館の利用</p> <p>5 その他(住居、生活等勉学に関することなど)</p>	<p>http://www.yamaguchi-u.ac.jp/page.php/index/page/id/1410</p>		
大分大学		<p>1 被災学生・大学院生の修学支援</p> <p>2 被災大学院生の研究支援</p> <p>3 研究者の支援</p>	<p>http://www.oita-u.ac.jp/01oshirase/toqoku_eq.html</p>		
	図書館	<p>図書館の利用</p>	<p>http://www.lib.oita-u.ac.jp/news_arch/2010/news_0318.html</p>		
九州工業大学		<p>(1) 学部生及び大学院生の授業科目の履修</p> <p>(2) 大学院生の研究支援(特別研究学生としての受け入れ)</p> <p>(3) 研究者の研究支援(研究スペース・研究装置等の利用可能な支援活動)</p>	<p>http://www.kyutech.ac.jp/info/id607.html</p>		
九州大学	附属図書館	<p>図書館の利用</p>	<p>http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/general/news_20110314.html</p>		
	生体防御医学研究所	<p>「共同研究(被災研究者支援)」の募集(1)ゲノミクス・エピゲノミクス、2)構造生物学、3)プロテオミクス、4)発生工学研究を実施中の被災研究者対象)</p>	<p>http://www.bioreg.kyushu-u.ac.jp/mib/activities_collabo.html</p>		
	法学研究院	<p>被災した大学等研究機関の研究者(外国人を含む)および大学院生(留学生を含む)に九州大学大学院法学研究院が有する研究施設等利用の便宜を図り、研究活動が継続できるよう支援する。</p>	<p>http://www.law.kyushu-u.ac.jp/tools/displaynews.php?id=113</p>	<p>九州大学貝塚地区事務部総務課庶務第三係(Tel:092-642-2352)</p>	

長崎大学		<p>1. 学生の講義の履修、聴講について</p> <p>(1) 対象学部：すべての学部</p> <p>(2) 受入れ対象者：次の①又は②いずれかに該当する学生を特別聴講学生又は科目等履修生として受入れる。</p> <p>①被災等により授業が開講できない大学に在学している学生</p> <p>②避難しているため、在籍する大学で授業が受講できない学生</p> <p>(3) 申込み期限：4月28日(木)までに申し込むこと。</p> <p>(4) 単位認定：本学の規定にしたがい認定します。</p> <p>(5) 履修に関わるすべての費用を免除します。</p> <p>2. 被災大学院生の研究支援について</p> <p>(1) 対象となる研究科：すべての研究科</p> <p>(2) 履修に関わるすべての費用を免除します。</p> <p>3. 研究者の支援について</p> <p>被災地域の大学において甚大な被害を受け、研究環境の再構築が長期にわたって困難な研究者に対して、研究スペースの提供等可能な限り柔軟に対応いたします。</p> <p>4. 住居</p> <p>住居については一定数を無料で提供します。</p> <p>5. その他</p> <p>不明な点はお問い合わせください。</p> <p>本学学生と同等にご利用いただけます。</p>	<p>http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/about/info/news/news640.html</p>		
	付属図書館	<p>* 館内資料の閲覧</p> <p>* 資料の貸出</p> <p>中央図書館・経済学部分館 開架5冊 書庫10冊 2週間</p> <p>医学分館 開架・書庫合わせて5冊 2週間</p>	<p>http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/news/news_list.php</p>	【問い合わせ先】 利用者サービス担当 tel: 095-819-2198 e-mail:	
熊本大学	<p>附属図書館(中央館・医学系分館・薬学部分館)</p>	<p>関東・東北地方の大学に在学中の学生及び入学予定者で、緊急帰省等、震災のために熊本県(近隣)に滞在せざるを得なくなった方を対象に本学学生と同等のサービスを提供する。</p>	<p>http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/news.html#200833</p>	中央館閲覧担当 Tel: 096-342-2233、2226 Mail: shiryu@lib.kumamoto-u.ac.jp	
佐賀大学		<p>震災等被災学生へのeラーニングによる講義等の提供</p>	<p>http://www.saga-u.ac.jp/viewnews.php?ui=c2FnYS11MjAwOQ==&fd=bmV3cw==&newsid=179</p>		
		<p>被災された研究者が研究活動を継続していただくため、「佐賀大学客員研究員受入規程」に基づいて、本学の施設・設備等が利用できる客員研究員として受け入れが可能である。</p>	<p>http://www.saga-u.ac.jp/viewnews.php?ui=c2FnYXUyMDEx&fd=Y29tbW9u&newsid=11</p>	学術研究協力部研究協力課(研究協力主担当)	
	附属図書館	<p>図書館の利用</p>	<p>http://www.lib.saga-u.ac.jp/news/chiran.html#163</p>		
	統合分析実験センター	<p>受託分析の受け入れ(FT-NMR, 粉末X線回折、DNAシーケンス、電子顕微鏡観察、ガンマ線照射等)</p> <p>研究者による機器の利用</p> <p>サンプルの保存</p>	<p>http://www.iac.saga-u.ac.jp/</p>	satoum(atmark)cc.saga-u.ac.jp	料金は学内利用料金に準じた形
	総合情報基盤センター	<p>佐賀大学総合情報基盤センター利用者用ネットワークの利用又は教育用端末の利用登録を行う</p>	<p>http://www.cc.saga-u.ac.jp/plan/emergency.php?num=353</p>		
福岡教育大学	附属図書館	<p>図書館の利用</p>	<p>http://www.fukuoka-edu.ac.jp/toshokan/cgi-bin/oshirase.cgi?2011-03-22-0850</p>		
宮崎大学		<p>1. 図書館の利用</p> <p>2. 学生・大学院生の講義履修、勉学支援</p> <p>3. 研究者の支援について(研究スペースの提供や研究機器の利用等)</p> <p>4 その他(住居、生活等勉学に関することなど)</p>	<p>http://www.miyazaki-u.ac.jp/uom/modules/pico19/releases/2011/0401information.pdf</p>		

愛知県立大学		科目等履修生の募集	http://www.aichi-pu.ac.jp/	[連絡先] 愛知県立大学事務局学務部学務課 [TEL] 0561-64-1111 内線5165	本学では、東日本大震災により被災した大学生の修学支援を行うため、特例措置として1年以内に限り、科目等履修生を募集します。詳細については、本学ホームページをご覧ください。
愛知県立芸術大学		科目等履修生の募集	http://www.aichi-fam-u.ac.jp/	[連絡先] 愛知県立芸術大学学務課(教務・学生支援係) [TEL] 0561-76-2847(ダイヤルイン)	本学では、東日本大震災により被災した大学生の就学を支援するため、特例措置として1年以内に限り、科目等履修生を募集します。詳細については、本学ホームページをご覧ください。
名古屋市立大学	薬学部・経済学部・人文社会学部・芸術工学部・薬学研究科・経済学研究科・人間文化研究科	科目等履修生の受け入れ	http://www.nagoya-cu.ac.jp/dd.aspx?menuid=1799	[連絡先] <薬学部・薬学研究科> 名古屋市立大学薬学部事務室 [TEL] 052-836-3402 <経済学部・経済学研究科、人文社会学部・人間文化研究科> 名古屋市立大学山の畑事務室 [TEL] 052-872-5808 <芸術工学部> 名古屋市立大学芸術工学部事務室 [TEL] 052-721-1225	4学部(薬学部・経済学部・人文社会学部・芸術工学部)及び3研究科(薬学研究科・経済学研究科・人間文化研究科)において、学習意欲のある避難学生を科目等履修生として受け入れを行います。詳細については、各学部・研究科窓口にご相談ください。
愛知大学	文学部・経済学部・国際コミュニケーション学部・法学部・経営学部・現代中国学部	科目等履修生の受け入れ	http://www.aichi-u.ac.jp/asp_pub/news/Com0000155.html	[連絡先] <<文学部・経済学部・国際コミュニケーション学部>> 豊橋教学課: 〒441-8522 豊橋市町畑町1-1 TEL (0532)47-4117(直通) <<法学部(1・2年)・経営学部・現代中国学部>> 名古屋教学課: 〒470-0296 みよし市黒笹町清水370 TEL (0561)36-1112(直通) <<法学部(3・4年)>> 車道教学課: 〒461-8641 名古屋市東区筒井2丁目10-31 TEL(052)937-8115 (直通)	本学では「科目等履修生制度」を設けて、他大学学生(大学院生)が授業科目を履修できるよう取り計らっています。詳細は、当大学にご相談ください。
愛知学院大学		特別科目等履修生の受け入れ	http://www.aqu.ac.jp	[連絡先] 愛知学院大学教学センター 教務課 [TEL] 0561-73-1111	本学では、「特別科目等履修制度」を設けております。今回の震災で被害を受けた学生(大学院生)に対し特別科目等履修生として受け入れ、教育・研究などの環境を提供します。この制度についての学費等は無償とします。詳細は下記までご相談ください。
愛知産業大学	造形学部・経営学部	科目等履修生の受け入れ	http://asu-g.net/univ/	[連絡先] 愛知産業大学 総務部 総務課 [TEL] 0564-48-4511	造形学部(デザイン学科、建築学科)、経営学部(総合経営学科)において、関連学科に籍を有する被災地学生をそれぞれ20名程度(計60名程度)受け入れが可能です。通信教育部(デザイン学科、建築学科)において、関連学科に籍を有する被災地学生を2学科あわせて30名程度の受け入れが可能です。受け入れる被災地学生の科目等履修生としての授業料等学納金は免除します。本学が有する留学生寮において最大6名(2人1室)の被災地学生の受け入れが可能です。受け入れる被災地学生の寮費・光熱費は免除します(食費等は支給いたしません)。

愛知文教大学	国際文化学部・人文学部	特別科目等履修生の受け入れ	http://www.abu.ac.jp	[連絡先] 愛知文教大学 事務局 [TEL] 0568-78-2211	# 本学では、被災地域の大学の学生を次のように受け入れます。 # 受け入れ学生の身分：特別科目等履修生 単位の認定： 授業を適正に受講して試験に合格した者には、本学の授業科目の単位として所定の単位を付与します。 尚、授業参加の遅れに関しては補講等の措置で対処します。 受け入れ可能な学部と学年： 国際文化学部国際文化学科 3・4年次生 人文学部人文学科 1・2年次生 受け入れ可能な人数 総数2名(学生寮入寮可能者) 入寮の必要がない方の場合さらに若干名の受け入れが可能です。 学納金等：検定料、入学金、授業料免除。入寮者の場合には寮費(光熱水費込み)免除。 受け入れ期間：基本的には平成23年度春学期、および秋学期とします。 受け入れ相談の期日：平成23年4月22日(金)まで ※なお、期限を過ぎた場合でも相談に応じますのでご連絡ください。
中部大学		特別聴講生の受け入れ	http://www.chubu.ac.jp/	[連絡先] 中部大学 教務部教務課 [TEL] 0568-51-1111	* 本学では、被災地域に所在の大学に在籍する学生を「特別聴講生」として受け入れます。支援の内容は次のとおりです。詳しくはお問い合わせください。 ・本学での履修単位は、所属大学での単位として認定されるよう協議いたします。 ・検定料、聴講料は免除します。 ・春学期については、4月30日までにお申し出ください。 ・本学留学生寮の空室の提供が可能です。なお、寮費は免除します。
東海学園大学	経営学部・人文学部・人間健康学部・健康栄養学部	特別科目等履修生の受け入れ	http://www.tokaigakuen-u.ac.jp	[連絡先] 東海学園大学 学生生活支援センター室 [TEL] 0561-36-5555	* 本学では、4学部（経営学部・人文学部・人間健康学部・健康栄養学部）において、今回の震災で被害を受けた学生に対し「特別科目等履修生」として受け入れ、学習環境を提供します。詳細については下記までご相談ください。
名古屋産業大学		被災地域緊急支援奨学生募集	http://www.nagoya-su.ac.jp/index.html	[連絡先] 名古屋産業大学 入試広報課 [TEL] 0561-55-3079	* 秋学期入学生を対象に「被災地域緊急支援奨学生」として、入学金免除、学納金減免、奨学金支給、住宅費補助、学生の家族の生活サポート(住宅斡旋等)を検討しています。(対象人数：10名程度(予定))。後日、大学のホームページ等で発表します。詳細については下記までご確認ください。
名古屋造形大学		学生の受け入れ	http://www.nzu.ac.jp/info/eq_info/824/	[連絡先] 名古屋造形大学 入試広報課 [TEL] 0120-977-980	* 4月15日(金)に特別入学試験を実施します(若干名)。また、被災の状況に応じて、学納金の減免等を行うことを予定しています。
名古屋文理大学			http://www.nagoya-bunri.ac.jp/COL/index.shtml	[連絡先] 名古屋文理大学短期大学部 食物栄養学科 名古屋文理大学 情報文化学部・健康生活学部フードビジネス学科 [TEL] 052-521-2251 [FAX] 052-521-2259	* 受講と単位履修を半期ごとに完結させる形で、要請校が履修単位を認定(科目等履修)することを前提に、受け入れが可能です。教育により派生する授業料等の支援を本学が全面的に行います。
日本福祉大学		東北福祉大学からの学生受け入れ	http://www.n-fukushi.ac.jp/news/10/jishin/index.html	[連絡先] 日本福祉大学 総合政策課 [TEL] 0569-87-2972	* 本学と東北福祉大学は「福祉」を核とした総合的な学部学科構成、授業科目構成など類似点があるため、東北福祉大学からの要請があった場合、今回の震災の被災学生を一定期間受け入れ、本学において学習環境を提供することなどを検討・実施します。

人間環境大学		科目等履修生および新入生の受け入れ		<p>〔連絡先〕人間環境大学 入試・広報課 〒444-3505 愛知県岡崎市本宿町上三本松6-2 [TEL] 0120-48-7812</p>	<p>* ① 被災地域にある大学等に在籍する学生を、「科目等履修生」として受け入れます</p> <p>〔支援内容〕 本学図書館、学内のコンピューター、学内のローカルエリアネットワーク(無線LAN)を開放すると共に、本学の授業科目の受講を希望する方を「科目等履修生」として受け入れます。「科目等履修生」としての受講を希望する方は、在籍する大学の学生証をご提示ください。授業料は無料とし単位認定も行います。本学は、希望する学生が在籍する大学に対して、「科目等履修生」として受け入れたことをお知らせし、受講後の単位認定は相手先大学にお任せします。</p> <p>〔学費等〕 検定料免除、入学金免除、初年度の授業料全額を免除します(教科書、実習費は実費必要)。希望により、本学の学生寮空き室(最長1年間)を無料で利用することも可能です。</p> <p>〔申込期限〕 平成23年4月26日(火)までに電話でお申し込みください。</p> <p>② 被災地域から避難された、学修意欲のある大学新入生を受け入れます</p> <p>* 〔入試名称〕 AO特別追試</p> <p>〔学費等〕 入学検定料免除、入学金免除初年間の授業料、教育充実費は被災の状況に応じて、部分免除から全額免除までの奨学生とします(教科書、実習費は実費必要)</p> <p>〔申込期限〕 平成23年4月26日(火)までに電話でお申し込みください。</p> <p>〔選考日〕 平成23年4月27日(水)まで随時行います。希望により、本学の学生寮空き室(最長1年)を無料で利用することも可能です。</p>
名城大学		科目等履修生の受け入れ	<p>http://www.meijo-u.ac.jp/</p>	<p>〔連絡先〕名城大学 学務センター [TEL] 052-838-2511</p>	<p>* 本学では「科目等履修生制度」を設けて、他大学学生(大学院生)が授業科目を履修できるよう取り計らっています。履修を許可する単位数は、1年度につき、30単位以内(集中講義によるものを含む)。大学院は12単位以内です。また、研究生・大学院研究生の制度も有していますので、これらの制度を通じ、柔軟な対応を図ってまいります。詳細は、当大学にご相談ください</p>
名古屋工業大学	工学部	学生の受け入れ	<p>http://www.nitech.ac.jp/news/2011/786.html</p>	<p>〔連絡先〕名古屋工業大学 学務チーム 修学指導担当 [TEL] 052-735-7441</p>	<p>工学部第1部の7学科(生命・物質工学科、環境材料工学科、機械工学科、電気電子工学科、情報工学科、建築・デザイン工学科、都市社会工学科)では、1年次から3年次までは、1学科当たり3名までの受け入れが可能です。</p> <p>工学部第1部の4年次及び博士前期課程・博士後期課程については、研究内容の適合度合いを確認して、受入れの可否を判断させていただきます。</p> <p>留学生については、国費留学生を優先に、大学全体で10名程度の受け入れが可能です。</p> <p>※学部生にあつては「特別聴講学生」として、大学院生の研究指導にあつては「特別研究学生」として受け入れ、検定料、入学料及び授業料は徴収しません。単位の認定については、授業等を適正に受講し、試験に合格した者に対し、本学の授業科目の単位として付与します。</p>
		<p>東日本大震災により被災した学生の修学支援という観点から、科目等履修生の受け入れを柔軟に行います。</p> <p>□</p>	<p>http://www.osaka-cu.ac.jp/news/20110412144816/research.html</p>	<p>学務企画課 電話：06-6605-3100</p>	

大阪市立大学	理学研究科	<p>大阪市立大学理学研究科では、この度の東日本大震災で被害を受けた大学等に対する支援の一環として、被災した大学等に所属する方々(教員、大学院生、研究員等)を一定期間受け入れ、研究活動が継続できるよう、以下の支援を行います。</p> <p>1.支援対象者: 今回の震災で所属する大学等が被災し、所属大学等における当面の研究活動の継続が困難となった教員、大学院生、研究員等の方々と、本学理学研究科に、関連する研究分野の受入可能研究室がある方。 2.受入人数: 若干名 3.受入期間: 原則として3ヶ月以内 4.支援内容</p> <p>(ア)研究設備等の提供 理学研究科が管理する施設・設備等のうち、管理責任者が認めたもの。 受入研究室が管理する居室および研究設備等のうち、当該研究室が認めたもの。 研究に伴う光熱水費。 本学の学術情報総合センターが提供する被災者支援サービス(詳細は、学術情報総合センターの案内を参照下さい。)</p> <p>(イ)宿泊の支援: 支援対象者には、滞在期間中、本学のゲストハウスまたは上野芝公舎への宿泊提供の用意があります。</p>	http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/news/dat/ukeire.pdf	<p>問合せ先 大阪市立大学理学研究科事務室 電話: 06-6605-2501 FAX: 06-6605-2522 Email: togura@sci.osaka-cu.ac.jp</p>	
	工学研究科	被災、避難等により在籍する大学・大学院で研究ができない学生で、指導教員の承諾がある学生の受け入れ	http://www.eng.osaka-cu.ac.jp/p/news/news110512eng.pdf	<p>大阪市立大学工学研究科事務係 06-6605-2653</p>	
	学術情報総合センター	東北地方太平洋沖地震で被災された地域の大学に所属されている学生、教員、大学院修了生(大学院を5年以内に修了又は単位取得退学)で、緊急帰省等、震災のため大阪市(近隣地域を含む)に滞在されている方を対象に、研究等に必要図書資料等が利用できるサービスを提供しています。	http://www.osaka-cu.ac.jp/news/20110328105115/research.html	<p>学術情報総合センター(杉本キャンパス)情報サービス 電話: 06-6605-3240 学術情報総合センター医学分館(阿倍野キャンパス) 電話: 06-6645-3491</p>	
	文学研究科	大阪市立大学文学研究科では、東北地方太平洋沖地震で被災された地域の大学に所属されている学生や教員で、緊急帰省等、震災のため大阪市及びその近隣地域に滞在されている方を対象に、学習・研究に必要な図書資料、スペース等が利用できるようにいたします。	http://www.osaka-cu.ac.jp/news/20110422162057/research.html	<p>文学研究科災害支援対策会議 電話: 06-6605-2353/2354</p>	
公立大学法人 山口県立大学		他大学に在籍している被災された学生を、平成23年度の1年間に限り、科目等履修生(入学試験料、入学金及び科目等履修料を全額免除)として受け入れます。	http://www.vpu.jp/files/892990761.pdf	<p>学生支援部 教務入試グループ TEL 083-928-5637 Mail:kyoumu@office.yamaguchi-pu.ac.jp</p>	
公立大学法人北九州市立大学		<p>東北地方太平洋沖地震に伴う科目等履修生の募集について</p> <p>北九州市立大学では、東北地方太平洋沖地震により被災された大学生、大学院生を対象に、被災地域の所属大学での学業継続が困難な学生の修学支援を行なうため、科目等履修生として受け入れます。 詳しくは、下記ウェブページをご覧ください。</p>	http://www.kitakyu-u.ac.jp/campus/shien.html	<p>教務課(093-964-4036)担当: 外国語学部、経済学部、文学部、法学部、地域創生学群、法学研究科、社会システム研究科(博士前期課程) 管理課教務担当(093-695-3330)担当: 国際環境工学部、国際環境工学部研究科</p>	<p>1 対象者 東北地方太平洋沖地震にかかる災害救助法適用地域の被災大学生 2 出願期間 平成23年4月4日(月)～平成23年4月28日(木)〔日曜日を除く〕 3 選考 書類審査(詳しくは、上記ウェブページをご覧ください) 4 授業料の減免 罹災証明書により減免 5 履修制限 (1)履修できるのは、原則として開講科目ですが、一部の科目については履修できない場合があります。 (2)履修できるのは20単位以内です。 6 履修期間 第1学期(4月1日～9月30日)</p>
清泉女子大学		科目等履修生として履修費用の全額免除による受け入れ	http://www.seisen-u.ac.jp/information/001500.html		

近畿大学	中央図書館	1.被災地域の大学生・教職員の本学中央図書館利用 ・中央図書館の資料閲覧・複写・貸出(冊数:10冊、期間:2週間) ・レファレンス調査 ・相互利用サービス ・メールレファレンス 2.被災地域の図書館への相互利用サービス ・被災された図書館への文献複写及び貸借サービス ・メールレファレンス	http://www.clib.kindai.ac.jp/news-2011.html#support		支援に関する連絡先: ①中央図書館の資料閲覧・複写・貸出 図書総務課・閲覧係 〒577-8502 東大阪市小若江3-4-1 Tel (06)6730-5880 (内線2507) Fax (06)6730-2561 E-mail: clib@itp.kindai.ac.jp ②レファレンス調査 レファレンス課 (利用相談) Tel:(06)6730-5880 (内線2509、2525) Fax (06)6726-2336 E-mail: clib-ill@itp.kindai.ac.jp ③相互利用サービス レファレンス課 (相互利用) Tel:(06)6730-5880 (内線2510、2511) Fax (06)6726-2336 E-mail: clib-ill@itp.kindai.ac.jp
福岡大学	図書館	詳しくは、下記ウェブページをご覧ください。	http://www.lib.fukuoka-u.ac.jp/top/news/topics/2010/110328borrowingservice.html	中央図書館2階カウンター係	
西南学院大学	法科大学院	被災により所属大学での学業継続が困難な学生を支援するため、本学の2011年度前期授業及び学生寮空室を被災学生に提供する。	http://www.seinan-gu.ac.jp/news/1334.html	総務部秘書課 hojin@seinan-gu.ac.jp	
	図書館	2011年5月に実施される新司法試験を受験する予定の被災者を対象に、図書館利用の便宜を提供する。	http://www.seinan-gu.ac.jp/es-law/news/110325_hisaisyauk-eire.html	大学院課法科大学院事務室 es-law@seinan-gu.ac.jp	希望者多数の場合には、人数制限を行うことがある。
	図書館	東北・関東大震災で被災した大学に在学(または入学予定)の学生で、緊急帰省などの理由で近郊に滞在している方に、特別利用者と同じサービスを提供する。	http://www.seinan-gu.ac.jp/library/news/temp.html	図書館閲覧係 lib-srv@seinan-gu.ac.jp	
図書館		図書館の利用	http://www.kiu.ac.jp/organization/library/news/2011/03/post-54.html		
自然科学研究機構・分子科学研究所		随時受付の特別枠(旅費滞在費支給基準を特別に設定)での共同研究に対応します。院生の場合は特別共同利用研究員(受託学生)として随時受入も可能です。長期にわたる宿舎、研究室、実験室、設備等の借用も対応可能な場合があります。	http://www.ims.ac.jp/whatsnew/2010/110317.html		各共同利用施設窓口、及び、所内の各教授・准教授にご相談下さい。適当な窓口が見あたらない場合には、共同研究専門委員会委員長の青野重利(Tel: 0564-59-5575, E-mail: aono@ims.ac.jp)までご相談ください。
基礎生物学研究所		「緊急の個別共同利用研究」の募集・・・研究室が被災し、研究の遂行に支障をきたした研究者(大学院生を含む*)に、基礎生物学研究所にて研究の場を提供 他大学の大学院生を一定期間受け入れ研究指導を行う「特別共同利用研究員」制度や他機関の研究者が基礎生物学研究所に滞在して研究を行う「特別訪問研究員」制度の活用	http://www.nibb.ac.jp/support/		
国立天文台		共同利用宿泊施設(コスモス会館)や研究室の利用	http://www.nao.ac.jp/		
生理学研究所		共同利用研究特別プロジェクト(被災地域大学・研究機関研究者支援)	http://www.nips.ac.jp/contents/release/entry/2011/03/post-160.html		
国立遺伝学研究所		【緊急共同利用・共同研究】研究室が被災し、研究遂行が困難になった研究者・学生を国立遺伝学研究所に受け入れ、研究の場を提供します。	http://www.niq.ac.jp/welcome/kyoudoukenkyu/11/kinkyu.pdf		
情報・システム研究機構 国立極地研究所		「東日本大震災共同研究緊急支援プログラム」東日本大震災により、様々な被害を受けられた大学等研究機関の研究者を一時待避として受け入れる。受け入れ期間は最長3ヶ月間。	http://www.nipr.ac.jp/info/notice/20110401shien.html	企画グループ(学術振興担当) gakuju@nipr.ac.jp	国立極地研究所の関連研究者と相談の上、本研究所の対応教員を通じて申請してください。
	発生・再生科学総合研究センター	関連学会や他機関との連携も取りながら、大学院生・研究者の一時的受入を含めた滞在型研究支援や、研究試料の保管・提供などの協力を検討 相談のための窓口を開設	http://www.cdb.riken.jp/jp/ourmessage.html		
	分子イメージング科学研究センター	被災された大学・研究機関の皆様に、研究活動において何らかのサポートを検討 個別に連絡・相談	http://www.cmis.riken.jp/message.html		

理化学研究所	オミックス基盤研究領域	被災地で学ばれている学生を「実習生」として受け入れ	http://www.osc.riken.jp/comment/index03.html		
	免疫・アレルギー科学総合研究センター	研究試料や研究用マウスの分与、会議参加希望の大学院生・研究者の受け入れなどの協力を検討 独マックスプランク研究所、米国立衛生研究所（NIH）、米国立アレルギー・免疫・アレルギー科学研究所（LIAI）等と連携して支援	http://www.rcai.riken.jp/comment/		
	基幹研究所	被災地の大学・研究機関の大学院生や研究者を受け入れ、できる限り研究・実験を滞りなく推進するための便宜を図る。	http://www.asi.riken.jp/misc/mesage201103.html	asi_shinsai_support@riken.jp	
	植物化学研究センター	連携大学院の仕組みを活かして現地での研究活動への支援とともに、被災地で学ばれている大学院生の受け入れを積極的に進めていく。	http://www.psc.riken.jp/comment/		
		NMR施設の提供（生命分子システム基盤研究領域）	http://www.ynmr.riken.jp/special/support.html		
		量子ビーム研究基盤支援（播磨研究所/SPring-8）	http://www.spring8.or.jp/ja/urgentnews/110401		
	リソース支援	http://www.brc.riken.jp/inf/news/20110419.html			
医薬基盤研究所(NIBIO)		細胞、ヒト由来DNA・血清等、及びマウス凍結胚・精子の「保護預かり」を平成24年3月末まで「無料」に	http://www.nibio.go.jp/news/2011/03/000137.html		
統計数理研究所		「特別共同利用研究」公募事項・・・ ・宿泊施設、研究スペース、研究資源（計算機システム、図書等）の利用。 ・旅費の支給、研究経費（予算の範囲内） ・研究期間（数週間から数カ月を想定しているが、柔軟に対応。）	http://www.ism.ac.jp/news/2011/20110323specialcooperateresearch.html	kyodo(at)ism.ac.jp	
ナショナルバイオリソースプロジェクト酵母		「酵母菌株が失われたので提供してほしい」、「リソースの安全な保存ができないので、一時的にバックアップを預かってほしい」など、どんなことでもご遠慮なくご相談ください。最大限ご要望にお応えしたいと思います。	http://yeast.lab.nig.ac.jp/nig/		
独立行政法人物質・材料研究機構		今般の震災により被災した研究機関に所属する研究者であつて、当該被災機関または他のファンドなどにより給与が支給されている方に対し、NIMSに一時滞りながら研究の続行の支援をいたします。 1)受け入れ研究者に心当たりがある場合 当該NIMS研究者に直接コンタクトしてください。 2)受入研究者に心当たりがない場合 下記の情報を記載の上、メールにてお問い合わせください。 1. 氏名、所属、ポジション、履歴、連絡先 2. 給与の支給元 3. 所属長（スーパーバイザー）の氏名、連絡先 4. NIMSに滞在を希望する期間 5. NIMSにおける研究の内容 6. 旅費、滞在費等についての希望	http://www.nims.go.jp/siteinfo/info/acceptance.html	学術連携室 nims-graduate@nims.go.jp	
	ナノ材料科学環境拠点（GREEN）	【オープンラボ研究公募】 被災された研究者の方を優先的に採択するとともに、その採否は応募申込後1週間以内に決定します。	http://www.nims.go.jp/GREEN/01news/job-vacancies/CFP/002.html	GREEN@nims.go.jp	NIMSに短期間滞りながら研究を行う研究者を広く募集しています。NIMS（茨城県つくば市）までの交通費、宿泊費および日当を支給します。また研究に必要な消耗品等を一部負担します。研究期間は、1件につき2年を限度とし、この期間内に複数回（各回1週間程度）または1回（最長1か月程度）の滞在を想定しています。 新しく確かな材料情報にじかに触れながら、NIMSの有する豊富な人材と先端設備を使って研究を継続していただくことを期待しています。
国際日本文化研究センター		宿泊施設（日文研ハウス単身用）の利用を伴う研究者等の受入及び施設の利用を提供します。（数名程度）	http://www.nichibun.ac.jp/info/facility.html#notice	担当者・連絡先 管理部研究協力課長 矢島 大彰 TEL : 075-335-2040 E-mail : hyazima@nichibun.ac.jp	当面の支援期間 平成24年3月31日まで

日本草学会若手の会	復興支援事務局	<p>以下のような内容について、主に草地球とそれに関連する分野の「支援依頼」と「支援協力」を可能な限りマッチングします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震および津波により失われた実験用サンプルおよび遺伝資源の提供 ・地震および津波の被害を免れた実験用サンプルおよび遺伝資源、また、計画停電および想定外の大規模停電により被害を被りそうな実験用サンプルおよび遺伝資源の保存場所(冷蔵庫および冷凍庫)の提供 ・地震および津波により失われた分析機器の提供および貸与 ・地震および津波により滞った分析、また、計画停電および想定外の大規模停電により滞りそうな分析について分析場所の提供および貸与 ・地震および津波により失われた調査対象および調査地について協同研究ができるかどうかの検討 ・卒論、修論、博論のテーマ設定かつ学生・院生・ポストドクの受け入れ ・国内および海外留学の受け入れおよび斡旋 <p>具体的な方法はwebsiteをご確認ください。</p>	http://grass.ac.afrc.go.jp/wakate/wakate-index.htm	復興支援事務局： jsgs.sien@gmail.com	この取り組みは、支援依頼者と協力者双方の善意に基づくものです。すべての支援依頼に対して、確実に協力を提供できるとは限りません。また、協力側も金品などの要求をしないでください。
被災学生に対する非被災地の大学図書館によるサービス(ポータルサイト)		博物館・美術館、図書館、文書館、公民館の関係者・支援者による、支援者被災学生に対する非被災地の大学図書館に関する情報をとりまとめたポータルサイト	http://bit.ly/dGwH78		「saveMLAK - 博物館・美術館、図書館、文書館、公民館(MLAK)の被災・救援情報サイト」 http://savemlak.jp/wiki/SaveMLAK から
被災学生・研究者支援機関マップ(ポータルサイト)		若手アカデミー活動検討分科会による被災学生・研究者支援機関情報のうち、国内のものをGoogle地図上にマッピングしたポータルサイト	http://www2.dhii.jp/nagasaki/supporuniv.html		一般財団法人人情報学研究所・永崎研宣氏作成
重イオン研究センター/GSI Helmholtzzentrum für Schwerionenforschung GmbH (ドイツ・ダルムシュタット市、ヘルムホルツ協会傘下)	全GSI研究グループで検討中	大学院学生(修士・博士)・ポストドクの研究の場を提供。エンジニア・テクニシャンについても問い合わせを受け付ける。財政面では、収入がGSIの学生・ポストドクの基準にあうようにする。	http://www.gsi.de/portrait/index.html	杉田 圭 k.sugita@gsi.de (GSI・加速器部門マグネットグループ)	現在、おおよその希望者の数を確認するため、関心のある学生・ポストドクからのメールを受け付けています。お気軽にお問い合わせください。4月11日からの週に「GSIで研究可能な課題一覧」とともに、具体的な手順等をお知らせする予定です。 物理研究分野だけでなく、FAIRプロジェクト(http://www.gsi.de/portrait/fair_e.html)のための研究開発を抱える加速器部門でも課題を検討しています。理学系だけでなく、工学系の皆さんにもお知らせいただければ幸いです。
King Mongkut's University of Technology Thonburi		I think this kind of support is very good for long term. KMUTT need to support people who cannot continue their research works after earthquake. Since, we are one of Science and Technology University in Thailand, almost facilities for engineering researches are available here. Moreover, we can be a hub in Thailand to contact other universities to support this kind of activities also.		Global Young Academy	窓口：駒井章治 skomai at bs.naist.jp
Johns Hopkins School of Medicine, USA		Do you have any Japanese researchers that might like to come to Hopkins? I would need to take steps to clear the way, but I think the hurdles should be surmountable.		Global Young Academy	窓口：駒井章治 skomai at bs.naist.jp
日本科学サポートネットワーク(海外・ポータルサイト)		日本科学サポートネットワークは、東北関東大震災に対する国際的な救援活動を統合するためのグローバルイニシアティブです。本データベースを通じて、各国の研究室、大学、病院、助成機関は提供可能なポジションや助成金情報を登録することができ、日本人の学生や科学者は登録された内容を検索できます。	http://www.nipponciencesupport.net/		

<p>「日本との特別協力プログラム」(フランス)</p>	<p>(参加大学・研究機関：4月5日時点) 大学： Universite de Lille 1 Universite de Rennes 2 Universite Paul Sabatier (Toulouse) Universite Catholique de Lyon Maison Universitaire France ? Japon (Universite de Strasbourg) Universite de Paris Diderot Paris 7 ENSAH Arts et Metiers, Paris Tech</p> <p>研究機関： Images EA 4218 CEFREM UMR CNRS 5110 UMR BOREA 7208 UMR INRA 1010 GREG EA 3006 Service recherche Hemato Immunologie GREYC-ENSI Caen</p>	<p>次のいずれかの内容に関するフランスの研究教育機関による特別協力プログラムに関する情報の提供： 1. 日本国内の大学との既存の交流プログラムを2011年9月からの年次において支援する 2. 2011年3月11日の東日本大震災で被災した日本の大学の学生、研究者、教員の方々のためにフランスの研究教育機関において在外研究、留学が行えるように特別の便宜を提供する</p>	<p>http://www.mfi.gr.jp/agenda/2011/03/11/index_ia.php</p>		
<p>地球電磁気・地球惑星圏学会</p>		<p>地球電磁気・地球惑星圏学会 (SGEPSS)では、当学会に関連する研究者・学生を受け入れることができる機関の情報を収集し、http://www.sgepss.org/sgepss/ukeire_kikan.htmlにて公開しています。</p>	<p>http://www.sgepss.org/sgepss/ukeire_kikan.html</p>		<p>問い合わせ先：塩川和夫 (SGEPSS総務) 名古屋大学太陽地球環境研究所 〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町 tel:052-747-6419 fax:052-747-6323 e-mail: shiokawa@stelab.nagoya-u.ac.jp</p>
<p>NIH Japanese Scientists Association</p>		<p>1. Provide positions/lab accommodations for those who wish to come to NIH to work (for either a short or a long stay, in order to continue urgent ongoing experiments). 2. Supply necessary research materials and laboratory animals. 3. Supply other necessary equipment.</p>	<p>http://nihjsa.org/minasama.html</p>	<p>NJSANIH@gmail.com または info@nihjsa.org</p>	

※2011年5月20日現在の集計途中のデータです。
 追加情報をお待ちしています。以下のウェブページよりご入力ください。
<http://tinyurl.com/3uqkj2o>